

草津温泉現地調査（地域活性化のフィールドスタディ）について

公共経営大学院 呉鵬

1. プログラムの実施スケジュール

【1日目】 平成28年11月1日（火）	
午後	<ul style="list-style-type: none">・湯畑見学（湯路広場・御座之湯等）・街造りについての講演（町長）・調印式・熱乃湯 湯もみと踊り見学・西の河原通りを歩いてスカイランドHへ
【2日目】 11月2日（水）	
午前	<ul style="list-style-type: none">・白根山・コンサートホール見学・草津熱帯園・大滝乃湯視察
午後	<ul style="list-style-type: none">・飲食店関係・ホテル関係者講演と質疑応答・2日目振り返り
【3日目】 11月3日（木）	
午前	<ul style="list-style-type: none">・各自見学・解散

2. プログラムの内容要約

近年、日本は「観光立国」の戦略を出すとともに、数多くの地方公共団体が観光事業を地方創生の重要な取り組みとして位置付けている。2016年11月1日から3日まで、藤井浩司先生の「地域活性化」授業の実習として、群馬県の草津温泉に行った。私たち留学生を含め、8人の学生がこのフィールドスタディに参加した。



1日目には、黒岩信忠町長が温泉観光地としての草津のまちづくり、財政再建、及び白根山火山対策について紹介し、学生との質疑応答を行った。会議が終わった後、役場の職員と一緒に、ランドマークとしての湯畑をはじめ、西の河原や熱乃湯などを見学した。



2日目の午前中には白根火山ロープウェイに乗り、雄大な自然の風景を満喫した。その後、草津音楽の森国際コンサートホールを見学し、スタッフから当該施設の建築概要と運営状況を紹介してもらった。また、草津熱帯圏という動物園では園長に案内してもらうことができた。午前の活動を通じて、草津における温泉以外の魅力的なところに対する深い認識を得られた。午後、地元の飲食店やペンションなどの経営者と話し合っ、飲食店内禁煙とインバウンドに関する意見を交換した。



学生たちは、三日間の現地調査結果を踏まえ、観光面から見る草津温泉のメリットとデメリットを分析した上で、合同レポートを書いて、学期末に授業で発表した。

3. 参加して得た感想とおすすめポイント

私は中国政府の派遣留学生として、日本の優れた点を学びたいと思っている。今回のフィールドスタディを通じて、日本の学生同士・観光の専門家・地方公共団体の関係者などと交流することができ、地方の観光政策の良い取組をたくさん見つけた。また、「にっぽんの温泉 100 選」で 14 年連続第 1 位を獲得した草津温泉で、人生初めての露天風呂を体験した。このプログラムは日本を深く理解する絶好の機会となった。